

# ケイトリン通信

来年1月初めまで留学生として日本に滞在して、本校の2年1組で学ぶ、オーストラリアのクイーンズランド州から来た、ケイトリン・ウチワさん。

中間検査を受けての感想を書いてもらいました。さて、皆さんは、オーストラリアと日本のテストの違いについてどう感じますか。

平成30年（2018年）5月25日  
明石市立明石商業高等学校  
明石市魚住町長坂寺1250  
電話番号 (078) 918-5950  
発行責任者 西 真未

## 中間検査の感想



浴衣（ゆかた）初体験

日本のテストはオーストラリアと全然違います。オーストラリアは「essay」と言いう作文を書くテ

ストが多いです。その作文は色々なジャンルがあって何の科目やテーマによって一つのジャンルのルールを

従わなければなりません。作文の長さはいたい3から6ページかかります。普通に70分で書きます。そ

の作文の中に質問の五つぐらいを答えて答えが正しいことを証明します。日本は質問がたくさんあ



放課後、勝田先生に古典を補習してもらいました

るけど答えはほぼいつも一言です。授業で勉強した知識を覚えていることを証明しているから授業に答えたことある質問を答えていきます。記憶力のテストです。だから日本のテストを見たら私はびっくりしました。日本の中間テストの時にテストが終わったら早く帰っていいです。それはオーストラリアと似ていません。

目を選ぶから試験の時間割は複雑です。同じの一つの科目を勉強している子は一緒にその一つの試験を受けなければならぬけど、その生徒達の他の科目はそれぞれ違うから生徒は自分だけの時間割をもらって自分は試験がある時だけに学校に行きます。